

☆ねらい

モデルとなる英文を提示することで、自然に英作文のヒントを得ることができる。また与えられたテーマに対して、まとまった長さの英作文を書くことができるようになる。

☆扱う場面

- ・全学年、単元終了のまとめ時、自己表現活動、3年生の受験指導対策など、生徒の習熟に応じて、生徒自身が、「コピー英文」と「英借文」の2通りから選択できるので、苦手意識のある生徒も段階的に取り組むことができる。

☆指導の手順と留意事項

学習活動	指導の仕方・留意点等
① 英文を一斉音読する。	・生徒自身が内容を把握することを意識させながら音読するよう指示する。
② コピー英文または、英借文かのどちらかを選択する。	・コピー英文と英借文の違いを伝える。 ・自分のレベルに合わせて選択させる。 ◇コピー英文→そのまま転写させる。 ◇英借文→教師が主語にさせる人を提示する。 ワークシート例) ユリさん
③ 選択した方法に沿って取り組む。	・英借文をすることで3単現のルールを身につけさせる。 ◇ワークシート記入例の中での <u>波線部</u> は、指示があった点、代名詞変化や決まり表現。 ◇ <u>二重線部</u> は変化させなければならないところ。
④ 英作文に取り組む。	・「自己紹介と好きなこと」をテーマに書かせる。 ◇ワークシート記入例で、 <u>波線部</u> は置換した単語。 ◇ <u>太線部</u> は新たに付け加えた英文。 ◇モデル文や英借文がヒントとなり、まとまった長さの英文が書きやすくなる。